

組合構成市町の観光と産業

小 林 市

〒886-8501

宮崎県小林市細野300番地

TEL0984-23-1111

面積 474.23km² 人口 48,270人(平成22.国勢調査)

北きりしまコスモドーム

小林市は、環境省(当時は環境庁)が主催する「全国星空継続観察」で星空が美しい町として、日本一に5回選ばれています。

星空が美しく見える条件には、夜空ができるだけ澄み切っていること、人工の光を始めとした周りを明るくする光の影響を受けない場所であること、空をさえぎる建物がなく広く夜空を眺められること、そして視界の開けた高い場所で見られることなどが挙げられます。この天文台がある生駒高原は、これらの条件がほぼ整っており、星を見るには、まさに「うってつけの場所」としてお勧めできる場所です。

この美しい星空に親しんでいただくために、当施設には昼間でも季節ごとの星空を楽しめるプラネタリウム、更に直径600ミリメートルの大型反射望遠鏡が備え付けられています。生駒高原のような条件の整った星空は、肉眼でも約1,500個の星を見ることができますが、この望遠鏡を使うと、約1,600万個の星を見ることが可能です。

星空をこれから知りたい方は、プラネタリウムを楽しんだ後、実際の星空を望遠鏡で見ることをお勧めいたします。月に1度の星空の夕べや、昼間の星の観察なども開催しています。

豊かな知識と経験からおいしくワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ」の資格案内人が皆様をお待ちしております。ぜひ、北きりしまコスモドームで星空の魅力をご体感ください。



ぼら星雲



九州最大級 600mm ニュートン反射望遠鏡



夏の天の川

大自然に抱かれて心もののびのび

『すきむらんど と 大つり橋』

平成 18 年 3 月 20 日に小林市と合併した旧須木村は、JR 小林駅より車で 25 分、大自然に囲まれた山間に 10 の基礎集落がある。

観光レクリエーション資源・施設は、小野湖畔及び「ままこ滝」を中心とした「すきむらんど」をはじめ「城山公園（須木城跡）」「永迫の奇岩群と渓谷」「すきむら河川プール」等が主なものである。

すきむらんど・・・春・夏・秋・冬、数え切れない楽しさ小野湖にかかるつり橋、歩道の斜張橋としては日本有数で、全長 155m、幅 1.5m、高さ 30.5m。本格的ログハウスの世界の山小屋、木立の中に佇む別荘風貸しロッジ、学校や会社の合宿に最適な宿泊研修館、その他レストラン等いろいろ。

ままこ滝キャンプ場・・・100名収容のキャンプサイト、バンガロー、管理棟がある。

すきむら河川プール・・・キラキラと輝く水しぶきを上げて子供達が水遊びをする。遠くは鹿児島方面からも見え、年々人気が高まっている。

観光農園・・・秋の味覚、須木名産の栗狩りが、8月の下旬から10月上旬まで楽しめます。

須木の味・・・猪料理・川魚料理・愛す栗夢(アイスクリーム)・栗焼酎・栗甘納豆

すきむらんど温泉・・・「かじかの湯」は、湯量豊富(1日約542t)で神経痛・関節痛・五十肩・疲労回復等に効果がある。四季折々に変化する大自然のパノラマの中で、小鳥のさえずりを聞きながら、「の～んびり」してみませんか。



すきむらんど 大つり橋



栗の山里 かるかや

歌と花の楽しめる公園 大塚原公園

「道の駅ゆーぱるのじり」「宮崎県総合試験場薬草・地域作物センター」に隣接する小高い丘が大塚原公園（面積3.3ha、標高213.7m）です。

平成16年度より整備が進められてきました。

歌人 長塚節（ながつか たかし）が当地で詠んだ「霧島は馬の蹄に立ててゆく埃の中に遠ぞきにけり」の歌碑が建立され、霧島連山をはじめ町内を360度が見渡すことのできる展望台も完成しました。

公園内には視界の開けた遊歩道も整備されており、全国から応募のあった短歌と町内外から寄贈され町民のボランティアによって植えられた彼岸花約20万本と水仙約1万本をはじめとする季節毎の自然を楽しみながら散策もできます。

公園上部には、トイレ、遊具が整備され、歩行困難な方のための駐車場9台分も用意されています。（午後10時から朝8時までは車の乗り入れはできません。）

また年末年始には、イルミネーションが公園全体を彩り、幻想的な世界を演出します。

「道の駅ゆーぱるのじり」駐車場から展望台までは遊歩道を利用して5分程度ですので展望台まで散策してはいかがでしょうか。



大塚原公園 イルミネーション



大塚原公園

えびの市

〒889-4292

宮崎県えびの市大字栗下1292番地

TEL 0984-35-1111

面積 283.00km² 人口 21,606人

大自然と人々が融合し、 「新たな力」が躍動するまち えびの

宮崎・鹿児島・熊本3県の境に位置し、南九州のアクセス拠点となっているえびの市は、多くの山々や高原に囲まれた田園都市であり、いで湯の里としても知られています。

特に、市の南部に位置するえびの高原は、平成22年に日本ジオパークとして認定された霧島ジオパークの一部であり、「みどころ」であるジオサイトを10箇所以上有する、えびの市を代表する観光地です。

春には、世界中でえびの高原だけに自生する天然記念物、ノカイドウが咲き、ミヤマキリシマが高原をピンク色に染めます。夏には、避暑地として多くのキャンパーが訪れ、秋には、登山や池めぐりハイキングを楽しむ人たちが賑わいます。特に、全国森林浴の森100選になっている六観音御池の紅葉は素晴らしく、湖面に写ったその眺めはとても神秘的です。冬は、霧水や樹氷が美しい中、屋外でのスケートを楽しむことができます。

すぐ近くには温泉もあり、遊んだ後はゆっくりくつろいでいただけますので、心も体も癒され、リフレッシュできること間違いなしです。

その他にも市内各所に、えびの高原温泉・白鳥温泉・京町温泉・吉田温泉とたくさんの温泉があります。場所によって泉質や効能も様々ですので、湯めぐりも楽しめます。お食事つきで休憩して、日帰り旅行気分を味わってみてはいかがでしょうか。

また、平成25年4月には新たな情報発信拠点施設として「道の駅えびの」がオープン予定ですので、是非お越しください。



高 原 町

〒889-4492

宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地

TEL0984-42-2111

面積 85.38km² 人口 10,000人

小さくても光り輝くオンリーワンを目指して

高原町は霧島屋久国立公園の北東部に位置し、霧島山系の各峰々への登山口となっています。

霧島屋久国立公園は、昭和9年に日本で最初に指定された国立公園の1つで、その景色の素晴らしさは格別です。その国立公園の一部をなす御池は霧島山系最大の火口湖であり、またその周辺にひろがる野鳥の森は、全国で4箇所しかない国設の野鳥の森で、ヤイロチョウ、アカショウビン等多くの珍しい野鳥が毎年飛来し、愛鳥家の目を楽しませてくれています。

神武天皇誕生の聖地として言い伝えられる皇子原公園には、バンガローをはじめ、ゴーカート・ミニSL、自然溪流釣りなど、子どもから大人まで楽しめる施設が整備されています。

霧島の麓に広がる高原町は、湧水と温泉が有名な町でもあります。霧島の恵みとも言える湧水は、水道水や農業用水として利用され私たちの生活に欠かせないものとなっています。

また、もう一つの霧島の恵みである温泉。町内に5つの温泉施設があり、それぞれ特色ある温泉で、県内外の多くの方々に愛されています。

高原町は、平成18年10月に「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

現在、自然と人間の営みが長い年月をかけて築き上げた、失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観や環境・文化を守る活動を展開しています。

高原町は、「小さくても光り輝くオンリーワン」を誇りに、将来にわたって美しいまちであり続けるために頑張っています。

「日本で最も美しい村」連合加盟のまち 高原町へ是非お越し下さい。

